

令和 3 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす南谷山
鹿児島市小松原 2 丁目 23 番 30 号

電話 099-267-6611

FAX 099-267-7311

メールアドレス minamitaniyama@medicorp.co.jp
令和 4 年 3 月 28 日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (事—①~⑨)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	5人	3人	2人	10人

前回の改善計画
・コロナ禍の中、大人数での会議は難しいうえ、担当者会議にスタッフを2名以上参加させるのは人員的に難しい為、できる限り、ケアマネージャー、管理者が利用前の担当者会議の日程をスタッフが参加しやすい時間に調整を行う。
・可能であれば、新規利用者様に利用前に体験利用を行っていただき、情報収集に努める。
・新規利用者情報を利用前にしっかりと確認し、特に利用当日には朝のミーティングの際に再度の情報、対応の確認を行う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	7	2	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか？	0	9	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか？	2	6	2	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	5	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアマネジャーが提供する情報、申し送りノート、カンファレンスやミーティングの機会を利用し、新規利用者情報を図ることが出来ている。	
・利用開始直後は、通常よりも声掛けやかかわりを多くすることで、不安の解消や他利用者との関係構築が出来るように配慮している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・体制上の問題もあり、ケアマネジャー以外の職員が担当者会議に必ず出席することが難しい。	
・利用者とは、サービス利用時に関係を深める事ができるが、感染対策上、送迎時にも主介護者以外の介護者（ご家族など）とは、接する機会が少なく、配慮が行き届いているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・新型コロナウイルスの終息後にはなるが、担当者会議の日程調整を行う際に、ケアマネジャー以外の職員にも担当者会議への参加が出来るように配慮する。	
・新型コロナウイルスの終息後には、主介護者以外の介護者やご家族との交流を通じて、利用者情報の共有や新たな関係構築など支援の幅が広げられるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画

- ・ケアカンファレンス、ミーティング時に本人の思いを全体で把握、共有し統一した関わりを行っていく
- ・ミーティング、ケアカンファレンス時に担当以外のスタッフにもできる限り関わった内容を発言してもらい、担当以外のスタッフにも個人への関わりを強めることができるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ケアカンファレンス、ミーティングで把握、共有した本人の思いについて、日々の取り組みの中で統一した関わりをする事が出来た。
- ・ミーティングやカンファレンスでは、担当職員以外にもケアに直接関わった職員からも意見をもらうようにしており、職員全体で関わる事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	7	3	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	7	2	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	6	0	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	4	6	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・目標については個人の記録用紙やライフサポートプラン内に記載があり、日々の支援の中で確認する事が出来ている。
- ・日々の実践の中で、課題が出来た場合には随時のミーティングを行っており、そのミーティング内の発言等を通じて情報の共有が出来ている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ライフサポートプラン上での目標に対して行う支援について、プラン上では具体的な介助方法や行動が記載してあるが、生活を支える上で充分な支援が出来ているとはいえないところがある。
- ・入職後間もないこともあります、カンファレンスやミーティングに参加している回数が少ないので内容の把握がまだできていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・目標についての情報について、日々の申し送りやカンファンレンス、ミーティングを通じて全職員で共有し、目標が達成できるよう、日常の生活全般に配慮した支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
3. 日常生活の支援	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画

- 初回のカンファだけでなく以前の暮らし方を確認する機会をケアカンファレンス、ミーティング時に作る
- 送迎時の車の中やバイタル測定、入浴介助の際にできるだけ利用者様に話かけることでコミュニケーションをとれる機会を増やす

前回の改善計画に対する取組み結果

- 職員それぞれが把握している「利用者の以前の暮らし方」についてカンファレンスやミーティングで情報共有することが出来ている。
- 1対1で行うコミュニケーションの際に、通常より多くのコミュニケーションを図ることが出来るようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	1	8	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	9	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	2	8	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	7	2	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	7	2	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 利用者のADLに合わせた基本的な介護や支援を行う事が出来ている。課題発生時には、ミーティング等を開催し、原因の特定を含めた対応が出来ている。
- 生活全般を捉えた支援を行っており、日々の申し送りやカンファレンス等での情報共有は出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用者の以前の暮らし方の把握については、以前と比較して共有する機会は増えたが、まだ充分にできているとは言えない。
- 利用者の日々の生活における課題への即時的な対応について、情報共有の不足や、随時のミーティングの開催などが難しい時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 自宅での生活環境の把握について、「以前の暮らし方を10個以上把握する」という事にこだわるのではなく、生活支援を行う上で必要な情報を収集・共有するように心掛ける。
- 当日の勤務体制上、即時的なミーティングの開催が厳しい面もあるが、書式や方法の整備を行い、短時間の会議開催を行うようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	3人	7人	0人	10人

前回の改善計画

- ・送迎時にご家族様と会う機会の際に、積極的に自宅での情報や近所のことを聞く。
- ・ケアカンファレンスの際に、軒下マップの確認を行い、全体で書き込んでいく。
- ・担当ケアマネが積極的に新しい情報を知り得た際には記録に残すだけでなくケアカンファレンスで改めて報告する

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・自宅での情報の聞き取りは何とかできているが、近所のことについては把握が進んでいない。
- ・軒下マップについては、書き込みが進んでいない。
- ・カンファレンス時の情報共有については、報告が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	8	2	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	6	4	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	5	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	4	3	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用が長い利用者については、これまでの関わり（送迎時の会話や、ホームの利用中の会話など）の中から情報の把握が出来ている方が多い。
- ・本人と地域の関わり方についても、送迎などで触れる機会の多い方については把握が進んでいる。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ホームを利用していない時の状況についての把握が進んでいない。
- ・利用者本人と地域の関係性の問題もあるが、利用者が暮らしている地域の民生委員、町内会長などの関係者や社会資源についての情報が少ない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・日々の会話や支援の中で、ホームを利用していない時の状況について把握に努める。
- ・軒下マップへの記入を進める中で、社会資源について必要な資源の把握を進め、ご家族や利用者を通じ、関係性が構築できるようにアプローチする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	6人	1人	10人

前回の改善計画

- ・地域資源とは何か、地域資源を理解、活用することの必要性について時間を作りスタッフ全員が理解できるようにする。
- ・ご家族様の思いということにスポットをあてて話し合いを行う機会を作る

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・情報としての地域資源に関する理解は一定程度進んでいるが、コロナ禍ということもあり、実際に地域での連携や状況についての把握は進まなかつた。
- ・カンファレンス等でもご家族の思いについて話し合うことが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	2	6	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	0	9	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	0	7	3	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	0	9	1	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・その日の状態（利用者、ご家族）にあわせて、ホームの機能（通い・訪問・宿泊）を利用した柔軟な支援が出来ている。
- ・日々の記録や連絡帳等を通じて、利用者本人の変化について把握するように努めている。
- ・社会資源についての理解は進んでいる。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍ということもあり、地域に出向くということが極端に少なくなり、小規模多機能ホームとして事業所以外の資源の活用が進んでいない。
- ・利用者にとっての地域資源がどういったものなのか把握ができない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・新型コロナウイルスの終息後にはなるが、利用者の住んでいる地域へ出かけていって、軒下マップ等を利用した社会資源の把握に努める。
- ・社会資源についての理解が進むように、カンファレンス時等に積極的な情報提供を行うように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
------------------	-----	------------------------

6. 連携・協働	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田
----------	------	--------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	0人	6人	4人	10人

前回の改善計画

- ・日程の早めの調整を行い、必要な会議や地域行事へより多くの職員が参加できるよう配慮することで、事業所内にとどまらない支援者としての幅を広げる機会を持つようになる

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会議や地域行事の殆どが中止や延期といった対応を行っているため、具体的な参加の事例等は無かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	3	5	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	3	6	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	1	8	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	1	9	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・実地での研修や会議はコロナ禍で開催が出来ないため、リモートでの研修や会議になっているが、行政や地域包括支援センター、市の小規模多機能連絡会が開催する研修や会議については参加が出来ている。
- ・ホームで消防訓練を開催する際には、消防署の職員に参加依頼を行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍による開催自粛や延期に伴い、ほとんど会議やイベントへの参加ができない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・今後も新型コロナウイルスによる会議等の自粛は続くものとし、リモートで開催される会議や研修については、積極的に参加を計画する。
- ・町内会の行事への参加は難しいが、廃品回収など協力できることに関しては積極的に行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
7. 運営	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	5人	1人	9人

前回の改善計画

- ・職員会議の際にはできるだけ、多くのスタッフからの発言ができるように発言の機会を意図的に作る
- ・運営推進会議や地域の方々との交流の機会を通し、地域のニーズや事業所への要望を伺い、また利用者、ご家族からのご要望・意見の把握に努め、常に事業所の運営改善に努める

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員会議では、全職員が会議中に1回は発言の機会があるように司会が調整を行うことが出来た。
- ・運営推進会議は書面配布による開催となってしまったが、手渡しでの資料配布を行い、議事録についての説明を簡単に、各委員から意見をもらうように取り組みを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	7	2	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	8	2	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	6	3	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	1	5	4	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員として、会議内で発言することが出来ており、発言した内容については、会議内で議論する事で運営に反映させることができている。
- ・利用者、家族からの意見は、送迎時や連絡帳、電話でいただく事があり、いただいた内容については、管理者へ報告し、ミーティングを開催、対応を協議する事で、できるだけ早い対応を行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍ということもあります、地域との接触も回覧板のやり取りなど必要最低限であり、地域との協働と言った取り組みについては実施できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・地域との協働については、コロナ禍でも出来ることについて検討し、意見や苦情が寄せられた場合には、事業所として速やかに対応を行うように取組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画

- ・小規模多機能ホームの地域での役割りや質の向上を目指して他事業所との交流や学習の機会に、より多くの職員が参加できるような体制や日程の調整を図る
- ・ヒヤリハットの意識づけの為に、ケアカンファレンスや職員会議時に毎回、ヒヤリハットについて意識づけを行う
- ・内部研修の充実（外部からの講師を依頼しての内部研修を行う）

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・市の小規模多機能ホーム連絡会が主催する研修については、ZOOMなどリモートでの開催されるものについて参加することが出来た。
- ・カンファレンスや職員会議内で、会議時点で提出の合ったヒヤリハット・事故報告書について情報共有を行った。
- ・内部研修の充実については、コロナ禍のため外部講師の依頼は出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	7	2	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	5	3	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	8	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0	8	1	1	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・部内研修については、毎月の職員会議内で実施されているため参加出来ている。
- ・外部研修については、コロナ禍で集合研修が実施できないため、ZOOMなどを利用したリモート研修への参加が始まっている
- ・会議内でヒヤリハットや事故報告書についての検討を行っており、その内容に基づいた対策を行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍のため、実地での集合研修の機会が減っている。また、年度途中より開催されることが増えたZOOM研修もタイミングが合わず参加が難しかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・リモート研修についての情報を収集し、参加可能な研修については積極的に参加する。
- ・資格取得や更新にかかる研修への参加について、勤務調整など事業所内で協力出来る事に取組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年3月11日（19:00～20:00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	坂下、松元、下満、山下、上高原、福田、松村、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画

- ・個人情報の取扱いについて定期的に勉強会を行い、正しい取扱についての意識づけをする。言葉による拘束についても身体拘束に関する定期勉強会の際に、重点的に時間をかけて学んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・部内研修で、個人情報保護と身体拘束についての勉強会を開催し、全職員で学びを深める事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	4	6	0	0	10
②	虐待は行われていない	6	4	0	0	10
③	プライバシーが守られている	2	8	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	3	6	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	0	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・部内研修で身体拘束や虐待、プライバシーについて学ぶ事が出来ており、事業所内で該当する行為が見られることはない。
- ・スピーチロックについても学んでおり、日々のケアの中で行わないように取組んでいる。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・成年後見制度については、事業所に対象者がおられないため、具体的に知る機会がない。
- ・個人情報保護について、申し送りの際、声のボリュームなど配慮が足りない面が見られた。
- ・個人情報保護について、利用者や家族、スタッフから聞かれた場合に、対応に苦慮することがあった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・成年後見制度については、部内研修など、定期的に研修の機会を設けることで、少しでも知る機会を増やすように取組みを行う。
- ・個人情報保護については、環境に応じた対応方法（場所や声の大きさなど）を全職員が身につけられるように取組みを行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 メディコープ	代表者	中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様に「もうひとつの我が家」と思っていただけるよう、利用者様を中心に家庭的な雰囲気の中、おひとりおひとりに合わせた支援方法が提供できるよう、職員一同日々の取り組みを行っています。 利用者様やご家族に24時間安心して過ごしていただけるよう、通いを中心としながら、訪問・宿泊のサービスを適宜組み合わせることで、利用者様やご家族に安心していただいています。 日常的には、利用者様を中心としてケアを提供するため、送迎時や連絡帳でのご家族との情報交換を大切にし、些細な変化も見落とさないように配慮を行っています。					
事業所名	小規模多機能ホーム おあしそ南谷山	管理者	坂下 稔		利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・取り組み内容として意識が足りなかった部分に対して具体的に取組んでいく。 ・コロナ禍の影響で取組めなかった課題には改めて取り組んでいく。	・ミーティング等を通じて、全職員で取り組むことができた。 ・コロナ禍の状況は継続しており、地域交流など制限しなくてはいけないことも多く継続課題として取り組む必要がある。	・書面により、改善に向けた取り組みがされていると思いました。 ・コロナ禍の中、感染拡大防止のため現場を確認できなかったために不詳。 ・前回までの改善計画をもとに、スタッフの皆さんで取組んでおられることが、よくわかりました。	・事業所内の取り組みを振り返る機会として、職員会議やミーティングを通じて取り組みを継続して行うようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・「地域の介護相談どころ」としての存在を認識していただけるよう外観について工夫していく。 ・玄関等の美化活動に継続して取り組む。また、可能なら、利用者様やボランティアの方の協力もお願いします。	・コロナ禍ということもあります、「地域の介護相談どころ」としての機能を果たすことができなかった。 ・玄関に季節の花を飾ったりしているが、事業所内への立ち入りを制限していることもあります、外部の方に中を見せていただくことができなかつた。	・中には入れないので、外から見るしか分かりませんが、畑に作物を作っていたり、そこで採れたさつま芋を利用者さんにあげたりと、自然との触れあいも努力されていらっしゃるなと思いました。 ・コロナ禍の中、感染拡大防止のため現場を確認できなかつたために不詳。	・玄関先の美化活動や畑の維持については今後も継続していく。 ・看板や張り紙等で「介護の相談が出来る場所」であるということを周知できるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	・カフェ等の地域の行事をしっかりと把握し地域の行事にスタッフが参加する事で地域の方々との交流を図っていきます。	・コロナ禍で小松原カフェの開催が自粛されており、地域行事への参加が難しかつた。 ・段ボールなどの古紙回収への協力を始めた。	・事業所に伺う機会はありませんでしたが、書面により、色々な取り組みをされていることが分かりました。 ・町内でのイベント等も、コロナのためほとんど開催できず、事業所の方との交流がほとんどできずには残念です。「おあしそ」利用者	・回覧板や地域の方々との交流などから、小松原カフェ以外の地域との関わりを見つけていく。 ・地域の廃品回収などの協力できるものを探して、積極的に参加する。

			様方の作品展もまたいつか見てみたいと思っています。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 「軒下マップ」を定期ファレンスの際に確認を行い、意識付をする事で全職員が取り組み本人を取り巻く環境を把握することで支援に活かしていく。 担当者会議の日程を可能であればスタッフが参加しやすい時間帯に調整する事で担当者会議への参加機会を増やす。 地域行事への参加の調整を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 「軒下マップ」はケアプランの更新時に確認しており、新しい関係者が出了たときには、全職員で把握に努めている。 担当者会議への参加は少ない回数ではあるが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント等は難しかったのではないかと思います。 コロナ禍の中、感染拡大防止のため現場を確認できなかったために不詳。 早くコロナが収束し、地域やおあしの行事に、事業所の利用者様方やスタッフの方々、地域の方々が行き来できるようになる事を祈っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 「軒下マップ」の記入・把握の中で、ご利用者の地域とのつながりや社会資源について積極的に情報収集をする。 担当者会議へのスタッフの参加回数を増やすように努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議には、引き続き利用者様の参加協力を依頼し、職員もできるだけ参加できるよう体制を整える。 事業所報告では、より具体的に事業所の取り組みが伝わるようにする。 必要時事例検討を行い、地域の心配な方々の情報交換や共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ過で文書配布による運営推進会議となっているが、できるだけ手渡しによる配布を行っており、顔の見える関係づくりに努めている。 相談があるときには必要に応じて情報の共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の開催がありませんでしたので「わからない」にチェックさせて頂きました。 コロナ禍で運営推進会議が開かれなかったため、書面で確認しました。 コロナ禍の中、感染拡大防止のため現場を確認できなかったために不詳。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの終息後にはなるが、職員も可能な限り参加できるように体制を整える。 新型コロナウイルス収束までは手渡しによる文書配布を継続して地域との関係性を途切れさせないようにすると共に、情報共有を図る。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 消防訓練の機会に運営推進会議メンバーも参加出来るように日程調整を行う。 他の事業所との連携調整を進め自然災害時の対応をより実現的なものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ過で、消防職員の立ち合いも難しい状況であり、地域住民の方や運営推進会議メンバーの参加もできていない。 ほかの事業所との連携を試みたが、受け入れの時間など難しいこともあり、継続課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災については、以前同法人の取り組みをお聞きしていたので、災害時、頼りになる事業所と思っています。 今年度は、コロナ対策のため、施設内へ入れなかつたため、よく分かりません。 コロナ禍の中、感染拡大防止のため現場を確認できなかつたために不詳。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス収束後には消防職員立ち合いでの地域住民の方や運営推進会議メンバーも参加してもらった防災訓練を行う。 地域で開催される防災訓練にも、可能であれば参加を検討する。

